

<2月> 「みんなの心をひとつにするの、めっちゃ大事!」

○ねらい お話の世界に思いを寄せ、友達とイメージを膨らませながら一緒に表現する楽しさを味わう。

○内容 自分の力を十分に発揮し、互いのよさに気づきながら役割分担をして遊びを進める。

環境構成 保育者の援助

①自分の思いを伸び伸び表現できるように、雰囲気をつくり、十分な時間を確保する。

②お話の世界に思いを寄せて、感じたことや考えたことを表現できるように見守り、作戦がどのようにすれば成功するか一緒に考える。

③友達と心をひとつにする大切さを感じられるように、アヤが何度も試した中で気付いた思いに保育者が感動したことを伝える。

アヤは、生活発表会に向けて「みつばちマーヤのぼうけん」のお話の世界で遊び、ミツバチが力を合わせて、スズメバチの攻撃から仲間を守るための作戦を考えている。アヤは、①前日にリクが提案したスズメバチを囲んで捕まえる作戦を友達と試している。前日は成功したが、今日は何度やってもスズメバチ役の友達を囲めず、隙間から逃げられる。①アヤ「もう少し腕をピンと伸ばした方がいいと思う」リサ「隙間が空かないように、もっと小さく囲もう」と言い、腕を真横に伸ばして友達と小さな輪を作る。②保育者も輪に入って話を聞き、アヤの試行錯誤している様子を見守る。アヤ「これだったら、きっと捕まえられる」と、スズメバチ役の友達を捕まえるために再度、持ち場に隠れて待つ。②スズメバチ役の友達が入ってきたタイミングを見て、腕を真横に広げて前に進むが、友達と小さな輪が作れない。次第に、立ち上がるタイミングもずれてきて、顔が俯き始める。サキが「なんでやろう?」と呟き、しばらく沈黙が続いた後、③アヤが「みんなの心がひとつになってないから」と力強い声で言う。③「みんなの心がひとつになってないと捕まえられるの?」と保育者が驚くと、アヤは「そうだよ。みんなの心をひとつにするの、めっちゃ大事。今、伸ばす腕とか立つ瞬間とかバラバラだから、心がひとつになってない」と言葉と動きで表現して見せる。④サキ「そうだよ。心をひとつにしないと赤ちゃんも女王様も仲間もみんな守れないよ」レン「ミツバチって一匹一匹では弱いけど、みんなで力を合わせると、スズメバチより強くなるんだよ」ヒナ「心をひとつにするの大事だよね」リサ「掛け声とかあった方がよくない?」アヤ「いいね。何て言う?」リサ「ヤー!とか?」サキ「ヤー!でやってみよう」と笑顔で互いの顔を見合う。



内面の読み取り

①前日の経験から、スズメバチ役の友達を捕まえるためには、互いが腕を伸ばして輪を作り、隙間をなくせばよいことが分かっている。

②捕まえ方のイメージは共有しているが、実際に表現すると、腕の伸ばし方や立つタイミングなどにズレが生じ、イメージしたことが実現できず、葛藤している。

③アヤは繰り返し作戦を試す中で、捕まえ方ではなく、みんなの心をひとつに合わせるといふ気持ちが大切だと気付く。

④アヤの思いは、仲間と助け合い、力を合わせることの大切さを謳うお話の核に迫ると共に、自分達が今まで共に積み重ねてきた経験や友達との関係性とも重なり、みんなの心をひとつにすることが大切だといふ気持ちの高まりにつながる。

< 考察 >

「みんなの心をひとつに合わせるといふ気持ちが大切だ」というアヤの思いは、お話の登場人物に思いを寄せて繰り返し作戦を試す中で気付いたことであると同時に、アヤが一年間友達と心を合わせて様々な遊びや行事をやり遂げて実感してきたことでもあった。だからこそ、みんなの気持ちがバラバラになっていることに気づき、「みんなの心がひとつになってない。みんなの心をひとつにするの、めっちゃ大事」と力強く友達に伝えたのだと思う。

< 幼児の学び >

- ・ミツバチの仲間を守るためには、また、友達と何かをやり遂げるためには、みんなの心をひとつに合わせるといふ気持ちが大切だといふ気づき
- ・イメージしたことを思い通り実現できないもどかしさや葛藤を友達と共に乗り越え、友達と心をひとつに合わせるといふ喜び

< 小学校の先生の気づき >



特別活動の中で、行事の成功のために、同じ目標に向かって話し合う学習活動が、小学校にもあるね。

ひとつの行事を成功させるために、友達と心をひとつに協力していくことは大切ですね。どうしてそれが大切なのかという気づきは、小学校生活を送っていく上でも重要だね。

